



和田圭祐=1970年5月9日生まれ。広島大学歯学部卒。名古屋大学医学部大学院で医学博士号を取得後、米国ハーバード大学大学院で歯学博士号取得。米国歯周病専門医。米国歯周病学会(AAP)認定医。現在ペンシルベニア大学歯学部でインプラント学ディレクターとして教鞭をとる傍ら、インプラント学術誌において世界最高峰といわれるJOMI誌及びPRD誌の編集委員を務める。医療法人東陽会和田歯科医院インプラント・歯周病担当

アメリカ発



最新歯科医療レポート

Vol.15 リポーター：和田圭祐 D.D.S.,Ph.D.,D.M.Sc.

おそらくほとんどのの方が歯医者さんから「歯磨きは一日2回、糸ようじは1回」と言われた記憶があるのではないのでしょうか。このように口の中を日常的に衛生的に保つことが、歯やその周りの歯肉の健康につながることはよく知られていますが、最近の研究ではそれが全身の健康にも密接に関わっていることがわかってきました。

口は体の中への入り口ですが、そこは皆さんが思われているほど清潔な場所ではありません。実際はきれいに手入れをしているように見えても、口の中には世界の総人口よりも多い数の細菌で満たされていることがわかっています。

歯周病と妊娠、出産

歯周病を患っている妊婦は早産の確率が高くなる——ということが

知られています。その一方で、ヨーロッパで行われた3700人の妊婦を対象とした最新の臨床研究では、歯周病のある女性はない場合よりも受精しにくく、平均で2ヶ月ほど妊娠するまでに時間がかかったことが報告されました。妊婦、あるいは妊娠を計画している



歯周病最新情報

歯周病が全身に与える影響

—最近の研究より—

バランスの変化などによって歯肉に炎症を起こすことが多く、また問題が起こっても妊娠中は歯の治療や薬なども施しにくいとされています。妊娠中の歯科医院でのチェックアップは健全で順調なお産のためにも重要であることがお分かりいただけましたでしょうか。

女性にとって、歯肉のチェックがいかにか重要であるか、認識されることが重要と思われれます。

うがい薬で妊婦の早産を予防できる

これに対して、最新のアメリカ産婦人科学会誌に発表されたペンシルバニア大学の研究では、歯周病のある妊婦には抗菌剤入りのうがい薬が早産の防止に有効だった——ということが報告され話題になっていきます。

妊婦の場合、ホルモン



※圭祐医師の活動についての最新情報はホームページで更新中。「和田歯科 新市」で検索を。

次回は歯周病と心臓病との関係について、最新の研究をお話します。

FRIENDLY DENTAL OFFICE 医療法人 社団 東陽会

和田歯科医院 (ムシバゼロ)

詳しくは当院のインプラント専用サイトをご覧ください <http://www.wada-implant.net/>

Tel. 0847-52-6480 予約制

福山市新市町新市695-2 <バス通り沿い・駐車場完備> 院長 和田 勝 / 和田 圭祐

広島大学歯学部卒・名古屋大学医学部大学院口腔外科学修士課程卒(医学博士) ハーバード大学歯学部大学院歯周病博士課程修了(歯学博士) 現ペンシルベニア大学歯学部インプラント学主任ディレクター